

～みんながつながる“お互いさま”の地域(まち)づくり～

《基本方針》

岡垣町では、少子高齢化や核家族化が進み、住民相互のつながりが希薄化するなど、地域や家庭を取り巻く環境は大きく変化してきました。それに伴い、虐待や孤独死、生活困窮者への支援や災害時などに手助けが必要な避難行動要支援者への対応など、様々な地域課題が顕在化してきています。また、住民の福祉サービスに対するニーズは多様化し、従来のような高齢者、障害のある人、子どもなどの対象者ごとに支援する個別の制度の中では、多岐にわたるニーズに十分に対応できない状況が生じています。

このような状況の中、年齢や障害の有無にかかわらず、住民や学校、事業者など地域社会を構成するすべての人々が互いに支えあいながら、多様な主体の結びつきにより、ともに課題を解決していく共生社会づくりが求められています。

そして、多様で複合的な地域生活課題を解決するためには、住民相互の支えあいによる互助の取り組みを進め、自助、互助、共助、公助の連携によって、子どもから高齢者まで、すべての住民が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けることができるような仕組みを作っていく必要があります。

岡垣町社会福祉協議会では、岡垣町の地域福祉計画と一体的に策定した地域福祉活動計画に基づき、高齢者や障害のある人、子どもなど様々な領域を地域の視点でとらえ、住民主体の地域福祉を支援する立場からより効果的な実践に取り組みました。

《基本理念》

みんながつながる“お互いさま”の地域(まち)づくり

私たちの暮らしの基盤は「地域」にあります。地域の絆、地域での人と人とのつながりや困ったときに助け合える関係、支えあう仕組みづくりが重要となっています。岡垣町では、「互助」のさらなる充実により、地域で課題を解決していく力や地域での支えあい・助け合いの力の底上げをめざしました。支え手側と受け手側に分かれるのではなく、みんなが互いに支えあいながら、自分らしく活躍できる地域を目指し、基本理念を「みんながつながる“お互いさま”の地域(まち)づくり」としました。

《基本目標》

1. お互いに支えあう「つながり」づくり
2. 地域福祉を支える「ひと」づくり
3. 地域でともに生きる「環境」づくり
4. 誰もが安心して暮らせる「まち」づくり

《基本目標ごとの取り組み》

1. お互いに支えあう「つながり」づくり

私たちのくらしの基盤は「地域」にあります。地域での人々のつながりや支えあい、生活課題の解決に向けた取り組みが一人ひとりのくらしを守り、豊かなものにしてくれます。近所づきあいは、あいさつ程度と希薄化していますが、地域での支えあいや助け合いの必要性は増えています。

支えあいや助け合いを進めるためには、日頃から地域で交流することを通じて、お互いを知り、「お互いさま」と言える関係づくりを進めていく必要があります。地域の人たちが交流し、つながり、そして、支えあい、助け合うことができる仕組みづくりを進めました。

(1) お互いさま命のネットワークの強化

【具体的な取り組み】

■お互いさま命のネットワークの推進

【社会福祉協議会が取り組むこと】

- すべての自治区でのネットワーク活動を推進・支援し、見守り協力機関含めた重層的な見守り体制づくりに努めました。また、緊急時には地域・行政と連携して迅速に対応しました。

【主な事業】

1) お互いさま命のネットワーク活動の推進・支援

○お互いさま命のネットワーク活動助成金交付

お互いさま命のネットワーク活動地区に対し、活動についての相談、情報提供や活動助成金を交付し支援しました。また、関係機関・団体、事業所等と連携することにより、重層的な高齢者等の見守りのネットワーク活動に取り組みました。

活動助成金交付地区：52地区

湯川区、波津区、原区、内浦区、手野区、新松原区、三吉団地区、三吉区、吉木区、高塚区、高倉区、上高倉区、元松原区、西黒山区、東黒山区、糠塚区、山田区、山田峠区、西山田区、東山田区、南山田区、茅原区、緑ヶ丘区、高尾区、旭西区、旭中区、旭東区、旭南区、東松原区、高陽区、百合ヶ丘区、鍋田区、西高陽区、東高陽区、南高陽区、戸切区、戸切百合野区、戸切白谷区、上海老津区、東海老津区、新海老津区、海老津区、野間一区、野間二区、野間三区、野間四区、塚原区、松ヶ台西区、松ヶ台東区、公園通り中区、公園通り西区、龍王団地区

(2) ふれあい交流活動の充実

【具体的な取り組み】

■ふれあいサロンの推進 ■ふれあい交流事業の充実 ■世代間交流の充実

【社会福祉協議会が取り組むこと】

- 住民同士の交流や居場所づくり、健康づくり・介護予防等を目的とした「ふれあいサロン活動」を推進・支援しました。
- 障害のある人の交流事業を見直し、様々な立場の人がさらに広い範囲で交流できる事業に取り組みました。

【主な事業】

1) ふれあいサロン活動の推進・支援

地域での連帯感の希薄化や心身の機能の低下により、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が地域で孤立しがちとなっており、各自治区単位でのふれあいサロン活動を民生委員・児童委員等の関係者と協力して推進しました。また、活動している自治区に対しては、職員の派遣やふれあいサロン活動助成金を交付し活動を支援しました。

ふれあいサロン活動地区：44地区

波津区、内浦区、手野区、新松原区、三吉団地区、三吉区、高塚区、高倉区、上高倉区、西黒山区、東黒山区、山田区、山田峠区、西山田区、東山田区、南山田区、緑ヶ丘区、高尾区、旭西区、旭中区、旭東区、旭南区、東松原区、高陽区、百合ヶ丘区、鍋田区、西高陽区、東高陽区、南高陽区、戸切区、戸切百合野区、戸切白谷区、東海老津区、新海老津区、野間一区、野間二区、野間三区、野間四区、塚原区、松ヶ台西区、松ヶ台東区、公園通り中区、公園通り西区、龍王団地区

2) ふれあい交流事業の充実

○ひとり暮らし高齢者のつどい ゆかいな果樹園（岡垣町）

75歳以上のひとり暮らしの人の社会参加の促進とふれあい交流を目的に、岡垣町民生委員児童委員協議会（以下「民児協」という。）等の協力のもと、ひとり暮らし高齢者のつどいを開催しました。

平成30年10月29日 山田校区、戸切校区

参加者 157人 総数 222人

11月5日 内浦校区、吉木校区、海老津校区

参加者 125人 総数 196人

○在宅介護者のつどい いこいの里

在宅介護者の心身のリフレッシュ、情報交換、ふれあい交流、こもれびの会会員の増員を目的に、在宅介護者のつどいをいこいの里で開催しました。

平成30年11月14日 参加者 30人

○地域ふれあい交流会「社協夏まつり」 屋内多目的施設すぱーく岡垣

地域ふれあい交流と福祉ボランティア活動等促進を目的とする社協夏まつりを開催しました。

平成30年8月25日 参加者 325人

○障がい者クリスマス交流会（障がい児含む） いこいの里

障がい児・者の社会参加の促進とふれあい交流を目的に、障がい者団体、福祉ボランティア団体、九州共立大学・九州女子大学の協力を得て、障がい者クリスマス交流会を開催しました。

平成30年12月9日 参加者 63人 総数 87人

○男性料理教室 いこいの里（平成30年度は参加者定員割れの為、未実施）

○囲碁・将棋大会 いこいの里

高齢者のふれあい交流、また異世代間での交流を目的に棋友会及び囲碁・将棋の会の協力のもと開催しました。

平成31年2月10日 参加者 27人

（一般参加3名、棋友会、囲碁・将棋の会24名）

3) おもちゃ図書館の運営

障がいのある子どもや親が自由に楽しく遊ぶ場、また、同じ悩みを持つ家族が語り合え

る場として、おもちゃ図書館ボランティアたんぽぽの会の協力により、毎月第2・4土曜日及び毎週木曜日（第1・3木曜日3歳までの乳幼児に一般開放）に開館しました。

開館日 70日（うち一般開放20日）

利用者数

障がい者（児）：258人（延）・乳幼児等：88人（延）

家族等：214人（延）・見学等：87人（延）

（3）地域の多様な支えあいの促進

【具体的な取り組み】

■地域コミュニティ活動の推進 ■生活支援体制の構築

■地域での健康づくり・介護予防活動の推進 ■分野を超えた連携の推進

【社会福祉協議会が取り組むこと】

■住民主体の助け合いや、地域と事業所の連携など、公的サービスでは困難な助け合いを推進・支援しました。

■生活支援コーディネーターとして本人、地域、事業所をつなぐ役割を担いました。

■町内の社会福祉法人とのネットワークの構築に向け検討しました。

【主な事業】

1）生活支援体制整備事業（町受託事業）

町からの生活支援体制整備事業の受託にともない、地域での資源開発や関係者等のネットワーク化を行うことで生活支援サービスの提供に向けた取り組みを推進する「生活支援コーディネーター」2名を配置しました。また、地域での助け合いや支え合いについて、自由に意見を交換しながらアイデアを出し合い、それらを具体的に実現するための「話し合いの場」を町と連携し実施しました。

「話し合いの場」

○第1回 平成30年6月2日

テーマ「みんなが集まって気軽に話せるサロンとは」

参加者 44人（地域住民20人、民生委員・児童委員9人、事業15人）

○第2回 平成30年8月18日

テーマ「家庭内支援でできること」

参加者 35人（地域住民10人、民生委員・児童委員9人、事業所16人）

○第3回 平成30年9月22日

テーマ「ごみ出し支援について」

参加者 38人（地域住民11人、民生委員・児童委員11人、事業所16人）

○第4回 平成31年3月16日

テーマ「これまでの話し合いの場をふり返る全体フリートーク」

参加者 29人（地域住民10人、民生委員・児童委員8人、事業所11人）

2）地域介護予防活動支援事業（町受託事業）

地域におけるネットワークの構築、介護予防の知識や方法を地域に普及する人材育成及び介護予防に資する地域組織（サロンや認知症カフェ等）の支援等を実施しました。

13地区40回 参加者延人数 943人

（平成29年度：16地区44回 参加者延人数 1,025人）

認知症カフェ運営支援（オレンジカフェ天狗屋、オレンジカフェおしゃべり会）12回

参加者延人数 225人

3) 社会福祉法人連携協議会（仮称）の設置

社協が中心となり、町内の7つの社会福祉法人で連携協議会の設立に向けた意見交換を行い、地域貢献活動や災害時の支援等について協議しました。

平成30年10月23日

内容 「岡垣社会福祉法人連携協議会（仮称）の設立協議について

～社会福祉法人連携による地域における公益的な取組の必要性～

参加法人 社会福祉協議会、日本傷痍者更生会、岡垣睦福社会、つつみ会、局会、高章会、いわき福社会

2. 地域福祉を支える「ひと」づくり

地域福祉の主角は、地域の人たちです。子どもから高齢者まで、地域のすべての人たちが地域福祉の担い手としての自覚を持ち、「お互いさま」の心で支えあい、助け合う人づくりを進めました。

また、地域の身近な支援者である民生委員・児童委員の活動を支援し、ボランティアや地域の「お世話焼きさん」など地域福祉を推進する「ひと」づくりを進めました。

(1) 福祉のこころを育む意識の醸成と啓発

【具体的な取り組み】

- 地域と学校の連携体制の推進
- 福祉教育の推進
- 認知症への理解の促進
- 障害のある人の差別解消の推進

【社会福祉協議会が取り組むこと】

- 学校や地域と連携し、子どもから大人まで対象に応じた福祉教育を実施しました。
- 認知症サポーター養成講座を推進し、正しい理解を広めました。

【主な事業】

1) 福祉体験講座（学校・地域）の実施

他人への思いやりや、やさしい心を育むことを目的として、小・中学校等と連携し、福祉教育を実施しました。

○福祉体験講座（車いす体験、アイマスク体験等）

岡垣中学校 1年生	3回：11コマ	参加者 延441人
海老津小学校4年生	2回：6コマ	参加者 延210人
内浦小学校 4年生	6回：8コマ	参加者 延48人

○福祉教育読本「ともに生きる」配布

町内小学5年生を対象に、福祉を身近なものとしてとらえ、ともに生きる大切さを学習するための副読本として配布しました。（福岡県社協作成） 配布数 332冊

2) 認知症サポーター養成講座の実施

認知症を正しく理解し、地域でサポートができる人材づくりの講座を、行政と協働し中学生を対象に開催しました。

平成31年2月26日	岡垣中学校1年2組・3組	72名	※うち教職員2名
平成31年2月26日	岡垣中学校1年4組・5組	69名	※うち教職員3名
平成31年2月17日	岡垣中学校1年1組	37名	※うち教職員2名

○認知症ケア地域推進事業

認知症を正しく理解し、認知症になった人を地域全体で見守る体制づくりが必要とされています。商店や学校等での認知症サポーター養成講座の実施や、お互いさま命のネットワーク活動で認知症になっても住み続けられる地域づくりの構築を推進するため、行政等と協議しました。

(2) 地域活動を支える担い手の育成

【具体的な取り組み】

- 民生委員・児童委員の活動への支援
- 地域福祉活動を担う人材の育成

【社会福祉協議会が取り組むこと】

- 民生委員児童委員協議会の事務局として、各委員との連携を深め、その取り組みを支援しました。
- 地域福祉に関する研修会や講座を開催し、人材育成に取り組みました。

【主な事業】

1) 岡垣町民生委員児童委員協議会との連携強化

社協と民児協とは、地域福祉を展開していく上で協力が不可欠であり、民児協との連携を強化するため、社協が民児協の事務局を担い支援しました。

2) 地域人材育成事業（町受託事業）

地域包括ケアシステムの構築に向け、すべての住民が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができるよう、住民に身近な圏域において、自らが地域福祉の担い手として主体的に行動する人材育成を図ることを目的に、全5回の地域人材育成講座を実施しました。

第1回 平成30年11月17日 いこいの里

講演：『お互いさまをカタチに』

講師：小川 全夫 氏（九州大学 名誉教授）

第2回 平成31年1月25日 大分県中津市

視察：沖代寄り合い所「すすめの家」・中津市社会福祉協議会

内容：沖代寄り合い所「すすめの家」現地視察

第3回 平成31年2月16日 いこいの里

講演：「すすめの家」「沖代どんぐりサービス」に学ぶ

～全国的に有名な取り組みが、どのように生まれ、育ち、現在に至るのか～

講師：吉田日出子氏（沖代すすめ・沖代どんぐりサービス代表）

吉川悠氏（中津市社会福祉協議会）

第4回 平成31年2月20日 熊本県阿蘇郡

視察：NPO法人にしはらたんぽぽハウス（西原村）

内容：「地域の縁がわ」事業の取り組み（現地視察）

第5回 平成31年3月16日 いこいの里

内容：岡垣町の課題の整理と今後の取り組み（第4回話し合いの場合同開催）

(3) ボランティア活動の推進

【具体的な取り組み】

- ボランティアの育成、支援
- ボランティアポイント制度の推進

【社会福祉協議会が取り組むこと】

- ボランティアの育成、支援を行いました。
- 福祉ボランティアポイント制度の登録者、受入機関ともに、さらにボランティアの輪が広がるよう、周知、啓発を図りました。

【主な事業】

1) 福祉ボランティアの養成・支援

社協に登録している福祉ボランティア 19 団体に対し、岡垣町ボランティア育成・支援事業補助金交付規則（岡垣町）に基づき補助金を交付するとともに、福祉ボランティア活動を支援しました。

○中間・遠賀地区社会福祉協議会連絡協議会ボランティア研修会

平成 30 年 11 月 17 日 芦屋町 町民会館大ホール 参加者 20 人

講演 「発達障害の方に対する理解と対応」

講師 社会福祉法人 日本傷痍者更生会 更生会ふれ愛の郷 くすのき 主任 山田 舞 氏

○ふくおか“きずな”フェスティバル

平成 31 年 2 月 17 日 春日市 クローバープラザ 参加者 19 人

講演 「ご近所の底力 あなたの力で街が輝く」

講師 フリーキャスター 堀尾 正明 氏

分科会 ・高齢者「高齢者の地域福祉活動」コディネーター 元苅田町長 吉廣 啓子 氏

・災害「地域ぐるみで防災対策」コディネーター ふくおか災害ボランティアネットワーク
酒井 澄彦 氏

2) 福祉ボランティアポイント制度の推進（町受託事業）

町が平成 28 年 10 月から新たなボランティア活動の創設としてボランティアポイント制度を導入し、社協がボランティアポイント制度運営の一部を受託しました。

福祉ボランティアポイント登録者研修

福祉ボランティアポイントについての登録者向けの研修を行いました。

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
研修回数	3	3	3	3	4	3	3	3	2	2	3	3	35
受講者数	4	2	0	5	8	3	4	2	3	5	3	0	39

3. 地域とともに生きる「環境」づくり

全ての人年齢や状況を問わず、その人のニーズに合った支援が受けられるよう全世代・全対象型の地域包括支援体制づくりが求められています。支援を必要とする人が、必要とするときに、適切なサービスを利用できるように、きめ細かな情報提供や相談支援体制の充実を進めます。あわせて、ユニバーサルデザインを推進し、誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる環境の整備に努めました。

また、地域福祉を推進するため、地域の人たちが、地域の色々な場所で、様々な関わりを持ち、交流できるような地域福祉の拠点づくりを支援しました。

(1) きめ細かな情報提供と相談支援体制の充実

【具体的な取り組み】

- 相談支援体制の充実
- 広報広聴機能の強化

【社会福祉協議会が取り組むこと】

- 総合福祉相談窓口を中心に、他職種・他機関と連携し困りごと解決を図りました。
- 全国の先進事例や町内での優れた取り組みを把握し、社協だよりやホームページを活用し情報発信に努めました。

【主な事業】

1) 相談支援体制の充実

社協は、現在の法律や制度で定められた福祉サービスに対する福祉課題や、高齢者の買い物など日常生活上起こり得る生活課題について、地域における困りごとの相談を受け入れ、総合的にコーディネートする体制の構築に取り組みました。

○総合福祉相談窓口

地域における困りごとの相談を受け入れ、総合的にコーディネートする体制を構築するために、国や県、町の動向を把握し、法令や制度を網羅したてびきを活用し、すべての職員が対応できるように、職員間の情報共有に努めました。

総合福祉相談窓口（民生委員・児童委員 24回：毎月2回・いこいの里）

総合福祉相談 1件

○心配ごと相談・法律相談

地域における困りごとの相談を受け入れ、総合的にコーディネートする体制を構築するために、職員の資質向上や分かりやすい情報提供に努め、心配ごと相談、法律相談を開催しました。

法律相談（弁護士 18回：奇数月1回偶数月2回・いこいの里）

法律相談 89件

心配ごと相談（民生委員・児童委員 12回：毎月1回・東部公民館）

心配ごと相談 3件

2) 広報広聴機能（社協だより・ホームページ）の強化

○社協だよりの充実

社協の広報紙社協だよりを町内全戸に配布し、社協の事業や地域の福祉活動等の記事を掲載し、事業の普及・啓発に努めました。

発行総部数 111,200部（8回／5・7・9・10・11・1・2・3月：全戸配布13,900部）

○広報広聴委員会

住民の情報の共有化による地域福祉の浸透及び住民意思の反映の推進と、広報広聴業務の円滑かつ適正な処理を行うことを目的に広報広聴委員会を設置し、社協だより編集方針と社協だより年間計画を策定しました。また、広報広聴委員会の意見聴取を行うことで、社協だよりの紙面の充実を図りました。

○社会福祉協議会ホームページ

社会福祉協議会の活動内容やいこいの里入浴施設のPR等、掲載内容の充実を図るとともに常に新しい情報を公開するように努めました。

(2) 福祉サービスの充実と基盤の整備

【具体的な取り組み】

- いこいの里の運営
- 地域福祉を支える財源等の確保
- 各種福祉関連計画に掲げたサービスの提供

【社会福祉協議会が取り組むこと】

- 共同募金運動を推進し、地域福祉のために積極的に活用しました。
- 従来分野では対応できない地域の問題や、制度の狭間にある複雑な課題に対し、地域での有償サービス等を含めた福祉サービスの開発に努めました。

【主な事業】

1) いこいの里の運営（指定管理期間：平成 28 年～32 年）

いこいの里で福祉事業の実施や社協だより、社協ホームページ等により啓発し、施設の利用者の増員と利用率の向上に努めました。

いこいの里ふれあい館入浴施設については、自治区で実施しているふれあいサロン等を入浴施設で開催して頂くとともに、毎月のイベントの他にスポットイベント等を実施しました。

《いこいの里施設利用状況》

区分 \ 年度	平成 30 年度	平成 29 年度
施設利用者（利用率）	113,046 人（55.6%）	117,752 人（58.4%）
ふれあい館利用者 （浴室施設利用者は除く）	22,338 人	26,281 人
浴室施設利用者	39,819 人	39,764 人

2) 共同募金運動の推進

共同募金会岡垣町支会と連携、協力し、街頭啓発や共同募金運動の推進に努めました。

募金実績 共同募金 5,708,687 円（平成 29 年度 5,698,387 円）

歳末募金 470,000 円（平成 29 年度 491,000 円）

3) 介護保険等サービスの質の向上

①居宅介護等事業

介護保険制度において、要介護等と認定された高齢者や障害者総合支援法における障害支援区分の判定を受けた利用者に対して、質の高いサービスの提供を行うため、職員を対象とした研修会の開催や資格取得のための勉強会などを積極的に行いました。

訪問介護事業では、要介護 1～5 の利用者が減少し、要支援 1,2 の利用者が増えましたが、利用者数に大きな変化はありませんでした。しかし、平均介護度が下がったために収入が減少しました。

居宅介護支援事業は、利用者数にあまり変動はありませんでしたが、特定事業所加算を取得したことで増収となりました。

収入 居宅介護支援事業 12,514,120 円（平成 29 年度：10,335,460 円）

訪問介護等事業 33,228,319 円（平成 29 年度：36,265,646 円）

《介護保険事業利用状況》

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	H29
訪問介護事業	49	48	49	51	49	47	47	53	56	52	51	52	604	669
介護予防・日常生活 支援 総合事業	67	70	68	64	64	65	61	59	64	63	61	57	763	693

居宅介護支援事業	62	66	63	65	64	61	60	57	61	59	59	61	738	699
介護予防支援事業	43	39	37	33	32	34	32	32	33	31	33	32	411	423
延利用者数	221	223	217	213	209	207	200	201	214	205	204	202	2,516	2,484

②障がい者の自立に関する取り組み

居宅介護・重度訪問介護事業では、障がいのある人等がその有する能力に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように訪問介護員（ホームヘルパー）が入浴、排せつ、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行いました。同行援護事業では、常にサービスを提供できる体制を整えています。

《障害者総合支援法に基づく居宅介護等事業利用状況》

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	H29
居宅介護等事業（障がい者）	9	7	8	9	7	8	8	9	9	8	8	6	96	99
地域生活支援事業（障がい者）	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	12

※同行援護事業：実績はありません。

③期訪問介護事業

介護保険制度で自立と認定された人や介護保険制度外での支援が必要な人等へ訪問介護サービス（ホームヘルプサービス）を実施しました。

《短期訪問介護事業》

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	H29
短期訪問介護事業	16	11	11	11	14	14	14	14	12	13	16	17	163	179

4) 在宅福祉サービスの充実

- ・送迎サービス事業
- ・入浴サービス事業
- ・福祉機器貸与事業
- ・福祉車両貸与事業
- ・コミュニティ車両貸与事業
- ・配食サービス事業（町受託事業）
- ・手話通訳者派遣事業（町受託事業）

○送迎サービス事業

低所得で車いすや常時つえが必要な高齢者や障がい者の福祉向上及び社会参加の促進・支援として、送迎ボランティアの協力のもと送迎サービス事業を実施しました。

送迎サービス事業を支援するボランティアが、安全に安心して活動できるように、送迎サービス研修会を開催しました。

送迎サービス研修会 いこいの里

平成30年6月16日 参加者 23人

《送迎サービス利用状況》

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	H29
送迎回数	37	35	36	37	39	37	39	40	36	36	35	34	441	494
ボランティア活動人員（延）	41	42	42	42	48	42	47	50	43	43	38	43	521	618

○入浴サービス事業

在宅の寝たきり高齢者で介護保険サービスを利用することが困難な方を対象に、介護老人福祉施設「恵の家」への業務委託により、入浴サービス事業を実施する予定でしたが、利用者は、ありませんでした。

○福祉機器貸与事業

福祉機器を貸与することで、在宅の高齢者や障がい者等に日常生活の利便性の向上が図れるように支援しました。

《福祉機器貸与延台数》 延 178 台

車いす	93台	ベッド	12台	歩行器（車）	15台
ポータブルトイレ	13台	シャワー椅子	14台	介助バー	2台
入浴用踏み台	8台	シャワーキャリー	8台	オーバーテーブル	13台

○福祉車両貸与事業

高齢や障がい等のため車いすを使用しなければ外出ができない人等の福祉の増進を図るため、社協所有の福祉車両（車いす対応）の貸与事業を実施しました。

4回（平成29年度：9回）

○コミュニティ車両貸与事業

ボランティア活動や地域コミュニティ活動を支援するため、軽トラックの貸与事業を実施しました。

2地区・5団体 24回（平成29年度：4地区・2団体：20回）

○配食サービス事業（町受託事業）

調理・配食ボランティアやシルバー人材センター等への業務委託により、週5回（火曜日・水曜日・木曜日・金曜日・土曜日）の254日配食サービス事業を実施しました。

《配食サービス利用状況》

区分月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	H29
配食日数	20	23	22	21	21	21	22	22	20	20	20	22	254	256
配食数	1,925	2,224	2,248	1,966	2,096	2,081	2,190	2,213	2,062	2,148	2,182	2,260	25,595	25,301
平均配食数	96	97	102	94	100	99	100	101	103	107	109	103	101	99

○手話通訳者派遣事業（町受託事業）

聴覚障がい者、音声・言語障がい者の日常生活や社会生活におけるコミュニケーションを支援するために、手話通訳者を派遣しました。

《コミュニケーション支援状況》

区分月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	H29
利用者数	6	3	6	6	3	3	7	4	4	7	4	4	57	52
派遣者数	6	3	6	6	3	3	6	4	4	8	4	4	57	53

(3) 人にやさしい生活環境づくり

【具体的な取り組み】

- 地域福祉の活動拠点づくり
- 移動手段の確保
- ユニバーサルデザインの推進と啓発

【社会福祉協議会が取り組むこと】

- 自治公民館や空き家などを活用した「居場所づくり」を積極的に支援しました。
- 地域での有償サービスや、地域と事業所の連携による新たな移動支援サービスの取り組みを検討し、支援しました。

【主な事業】

1) 地域福祉の活動拠点づくり

地域共生社会の実現に向け、戸切校区コミュニティ運営協議会では子どもから大人までだれでも利用できる地域交流拠点整備に向けた検討が進められています。住民主体の地域福祉を推進するため地域での拠点づくりの支援を行いました。

平成31年3月15日 東部公民館

戸切校区コミュニティ合同部会（役員会）

2) 移動支援サービスの検討・支援

○送迎サービス事業を介護保険制度の事業として、実施できるか行政と検討をしましたが、介護保険制度の内容と合わないため、生活支援体制の中で検討します。

4. 誰もが安心して暮らせる「まち」づくり

災害は、ある日突然に起こるもので、日常の備えが欠かせません。災害発生時は地域のチカラ（互助）が重要です。災害時や緊急時に適切に対応できるよう、支援が必要な人の把握や地域での見守り体制を強化しました。関係機関と連携し、生活に困窮した人や制度の対象とならない制度の狭間にある人への支援を行いました。虐待防止に関する施策の推進や成年後見制度の普及に努め、権利擁護を必要とする人へ適切な支援を行いました。

(1) 災害時・緊急時の助け合いのしくみづくり

【具体的な取り組み】

- 避難行動要支援者支援体制の確立
- 自主防災組織の育成
- 災害ボランティアセンターの設置
- 福祉避難所の整備

【社会福祉協議会が取り組むこと】

- 町と連携して災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施するとともに、他市町村社協との広域的な連携を図りました。
- 福祉的な配慮が必要な場合は福祉避難所を設置し、適切に運営しました。

【主な事業】

1) 災害ボランティアセンターの設置・運営訓練の実施

災害ボランティアセンターの設置については、町と協定を締結しています。

2) 災害時の広域的な連携体制の強化

大規模災害に対し、適切に対応していくため、人的支援・物的支援の受け入れを円滑に行うための体制づくりの一環として、公益社団法人ひびき青年会議所、福岡県社会福祉協議会、中遠地区社会福祉協議会と災害時相互協力協定を締結しました。また、広域的な災害に対して、石川県津幡町社会福祉協議会と災害時相互応援協定を締結しました。

3) 福祉避難所の設置・運営

福祉避難所については、いこいの里が災害ボランティアセンターの拠点となるため、行政を福祉避難所の設置について協議しました。

(2) 自立を支えるための支援

【具体的な取り組み】

- 生活に困窮した人の自立支援
- 更生保護活動の支援

【社会福祉協議会が取り組むこと】

- ふくおかライフレスキュー事業に参加し、生活困窮者の自立を支援するネットワークづくりに取り組みました。
- 福岡県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業を通じて、生活困窮の社会的、経済的自立を支援できるよう努めました。

【主な事業】

1) ふくおかライフレスキュー事業（実施主体 福岡県社協）

ふくおかライフレスキュー事業は、高齢者の介護・障がい児者への支援・児童の養育等、さまざまな専門性を備え長年に渡り地域で福祉を支えてきた社会福祉法人が、地域の課題に向き合い、訪問・相談を通じて、困りごとが解決できるよう支援を行う社会貢献の取り組みです。岡垣町からは2法人4事業所が参加し、地域の困りごと解決に取り組みました。

参加法人 社会福祉協議会、日本傷痍者更生会（恵の家、希望舎、報恩母の家）

実績 ふくおかライフレスキュー事業 1 件（平成 29 年度：2 件）

2) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

景気低迷が原因による離職者や母子世帯等で生活に困窮している方の相談と貸付要件に該当している場合は、生活福祉資金の貸付により、低所得者の自立更生の支援をしました。

相談件数：14 件（平成 29 年度：20 件）

貸付件数：14 件（平成 29 年度：14 件）

◎緊急小口資金：6 件 455,000 円

内訳（生保支給までのつなぎ：4 件、その他：2 件）

◎総合支援資金：2 件 303,000 円

内訳（一時生活再建費等：2 件）

◎教育支援資金：2 件 909,000 円

内訳（教育支援費：1 件、就学支度費：1 件）

◎福祉資金：4 件 1,109,000 円

内訳（福祉費：3 件生活必需品、1 件車両購入）

(3) 権利擁護を必要とする人への支援

【具体的な取り組み】

- 成年後見制度の普及と利用促進
- 金銭管理に不安を抱える人への支援
- 死後事務の支援
- 虐待や DV 被害の防止対策

【社会福祉協議会が取り組むこと】

- 身寄りのない高齢者などの権利擁護のため、法人後見事業に取り組むことについて検討を行いました。
- 福岡県社会福祉協議会が行う日常生活自立支援事業を通して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などを行いました。
- ずっと安心プラン事業（葬儀納骨残存家財処分などの死後事務委任）の充実に努めました。

【主な事業】

1) 法人後見事業の検討

日常生活自立支援事業の支援で関わりのある社協が引き続き成年後見人等になることで、判断能力が不十分な方から著しく不十分になった方まで、安心と信頼に基づく支援が実施できるよう検討しました。

家事関係機関との連絡協議会

平成30年12月14日 福岡家庭裁判所小倉支部

2) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

福岡県社協が実施している日常生活自立支援事業を支援するため、日常生活自立支援事業を社協だよりに掲載するとともに、関係機関への周知と制度の普及に努めました。

日常生活自立支援事業契約者 15人（支援件数延 191件）

（平成29年度：17人 支援件数延 193件）

3) ずっと安心プラン事業

高齢者や障がい者などが安心して生活できるよう、社協が事前に預託金を預かり、葬儀・家財処分などのサービスや定期的な見守りサービス・かぎ預かりサービス・入退院時等の支援を行うずっと安心プラン事業を実施しました。また、終活に関する専門相談窓口の設置や終活セミナー開催など本事業PRに取り組みました。

- ・契約者1人、契約手続き中1人、契約者死亡に伴う死後事務実施1人
- ・相談延べ件数 57件
- ・終活セミナー（全3講座） いこいの里

講師 終活パートナー九州 真武 純哉 氏

第1回 平成30年7月25日

テーマ 「終活の必要性について」

第2回 平成30年8月22日

テーマ 「親子で考える～相続・遺言のポイント～」

第3回 平成30年9月26日

テーマ 「死後事務委任とは 知っておきたい葬儀・お墓事情」 参加者 42人

- ・ずっと安心プラン事業視察受入

平成30年12月6日 いこいの里

佐賀県都市社協連絡協議会職員 25人

4. 法人としての取り組み

【具体的な取り組み】

■行政、関係機関・団体との連携強化

■役員体制および事務局体制の強化

○社会福祉協議会役員体制の強化

社協の運営強化、役員等への情報提供の強化を図るとともに、研修会等へ参加していただきました。

福岡県社会福祉大会 福岡市 福岡国際会議場

平成30年10月22日 参加者 8人

講演 記念講演「大規模災害に備えて～今、私たちができること～」

講師 認定NPO 法人レスキューストックヤード 代表理事 栗田暢之 氏
中間・遠賀地区社会福祉協議会連絡協議会役員研修会 芦屋町 芦屋町中央公民館
平成31年1月12日 参加者 8人
講演 「地域福祉のためのファンドレイジング」
講師 一般社団法人 日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET
理事長 久津摩 和弘 氏

○社会福祉協議会事務局体制の強化

職員の資質の向上や業務量に応じた適切な職員の配置など、より一層の事務局体制の強化を図るとともに、多様な福祉ニーズに対応できるように、職員の自主的な勉強会や情報交換会を開催しました。

筑豊ブロック市町村社協連絡協議会事務局長研修会 宮若市 社会福祉センター
平成30年12月25日 参加者 1人

講演 「災害ボランティアセンターの設置と運営について」

講師 飯塚市社会福祉協議会 事務局長 森部 良 氏

嘉麻市社会福祉協議会 事務局長 木山 淳一 氏

社協職員研修会（毎月：原則第2・4木曜日）

国・県・町の福祉関係の動向を把握し、社協の事業展開を迅速かつ効率的に行うため、職員の資質向上を図ることを目的として職員研修会を開催しました。

○その他の事業

社協会長表彰

社会福祉の増進に努め、その功績が顕著な人に対して、表彰状及び感謝状を社協夏まつり開催時に贈呈しました。

平成30年8月25日 いこいの里

被表彰者 31人 1団体

社会福祉事業特別功労者 5人

社会福祉事業協力者 25人

特別表彰（寄附）1人 1団体

助成事業

児童養護施設や要援護児童等に対し、助成金を交付しました。

《活動助成金交付内容》

- ・児童養護施設報恩母の家（交流会等）
- ・自転車通学生ヘルメット購入費補助
岡垣中学校 44人、岡垣東中学校 69人
- ・修学旅行費補助（要保護・準要保護等の児童・生徒を対象）
岡垣中学校 26人、岡垣東中学校 18人
吉木小学校 7人、海老津小学校 19人、
山田小学校 17人、戸切小学校 5人
- ・特別支援学級運営費補助
岡垣中学校 6人、岡垣東中学校 11人
吉木小学校 8人、海老津小学校 19人、山田小学校 20人、戸切小学校 1人
- ・通級指導学級「あおぞら」
海老津小学校 11人

歳末たすけあい事業

在宅で生活している重度の障がい者（児）や施設入所者に、歳末見舞金を配布しました。また、ひとり暮らし高齢者等へ年賀状を送る事業を実施する自治区（要申請）を対象に、年賀はがきを配布しました。

在宅の重度障がい児・者（歳末見舞金）	39人
障害者支援施設「希望舎」入所者（歳末見舞金）	51人
障害者支援施設「こすもす園」入所者（歳末見舞金）	52人
共同生活援助施設「あゆみヶ丘」入所者（歳末見舞金）	26人
児童養護施設「報恩母の家」入所者（歳末見舞金）	62人
年賀はがきの配布（25自治区）	984枚

○各会議開催状況

理事会・評議員会開催状況

<理事会>

第1回	5月16日	議案第1号	評議員選任候補者の推薦について
		議案第2号	第1回評議員選任・解任委員会の開催について
		議案第3号	第1回評議員会の開催について
		議案第4号	指定訪問介護及び指定介護予防訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程
第2回	6月6日	議案第5号	定款の一部を改正する定款
		議案第6号	平成30年度社会福祉法人岡垣町社会福祉協議会会長表彰及び感謝の対象者の決定について
		議案第7号	平成29年度事業報告について
		議案第8号	平成29年度収入支出決算
		議案第9号	第2回評議員会（定時評議員会）の開催について
第3回	10月26日	議案第10号	経理規程の一部を改正する規程
		議案第11号	事業見直し方針（案）について
		議案第12号	平成30年度補正予算（第1号）
		議案第13号	第3回評議員会の開催について
第4回	2月22日	議案第14号	平成30年度補正予算（第2号）
		議案第15号	第4回評議員会の開催について
第5回	3月22日	議案第16号	職員給与規程の一部を改正する規程
		議案第17号	指定訪問介護及び指定介護予防訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程
		議案第18号	福岡県介護保険広域連合訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）事業所運営規程の一部を改正する規程
		議案第19号	平成31年度事業計画について
		議案第20号	平成31年度福祉基金の取り崩しについて
		議案第21号	平成31年度予算
		議案第22号	第5回評議員会の開催について

<評議員会>

第1回	5月30日	議案第1号	理事の選任について
第2回	6月22日	議案第2号	定款の一部を改正する定款
		議案第3号	平成29年度事業報告について
		議案第4号	平成29年度収入支出決算
第3回	11月2日	議案第5号	事業見直し方針(案)について
		議案第6号	平成30年度補正予算(第1号)
第4回	3月7日	議案第7号	平成30年度補正予算(第2号)
第5回	3月26日	議案第8号	平成31年度事業計画について
		議案第9号	平成31年度予算